

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

自由通りー1

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」と歩いてきました。

今回は「自由通り」を歩きます。自由通りは大田区の中原街道の雪が谷大塚駅前交差点を起点に、世田谷区の玉川通りの駒沢大学駅前交差点に至る延長約5kmの道です。写真右上は自由通りの道路名標識（都道426号線）です。

掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[雪が谷大塚駅前交差点] 大田区雪が谷大塚

最寄駅 東急池上線 雪が谷大塚駅

雪が谷大塚駅から中原街道（都道2号線）に出て、環八通り（都道311号線）方向へ進み、雪谷大塚駅前交差点（写真下）を右折する道が自由通り（都道426号線）です。



住宅街（写真右）を歩きます。
次の東玉川交差点までは区道表示
（写真上）です。東玉川二丁目交差点
から世田谷区に入ります。

[東玉川神社] 世田谷区東玉川一丁目

最寄駅 東急池上線 雪が谷大塚駅

右側に「東玉川神社」（写真下左右）があります。



「江戸時代にあった諏訪神社が一時廃社、昭和3年に再興、昭和14年拝殿、翌15年に本殿を渋谷本町の氷川神社から譲り受けて移築しました。伝統的な和様の社殿は、地域の歴史を伝える建築物（世田谷区登録有形文化財）として貴重なものです」との説明板があります。

[東玉川交差点] 世田谷区東玉川二丁目

最寄駅 東急目黒線奥沢駅

東玉川交差点（写真下右）を直進します。左へ行くと環八通り方面、右へ行くと中原通り方面です。自由通りはここで区道から都道426号線になります。



[東急目黒線・奥沢駅] 世田谷区奥沢三丁目

最寄駅 東急目黒線 奥沢駅



東急目黒線の踏切（写真左）を越えます。右は東急目黒線奥沢駅です。東急目黒線は品川区目黒駅から横浜市港北区日吉駅までの東急電鉄の鉄道路線です。現在は都営三田線、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道埼玉スタジアム線、相模鉄道と相互乗り入れしています。

[奥澤神社]

世田谷区奥沢五丁目

最寄駅 東急目黒線 奥沢駅

左側に「奥澤神社」(写真下左)があります。説明板には『世田谷城主 吉良氏の家臣、大平氏が奥沢城を築くにあたり守護神として勧請したと伝えられる。例祭の9月14日・15日に、江戸中期より伝えられている「厄除の大蛇」の特殊神事が行われ、境内の「八幡小学校発祥之地」の碑は、かつて八幡小学校々舎があったからである。社殿(写真下右)は昭和45年に完成し、尾州檜材を用い、室町期の様式を採用したもので、都内においても他に類を見ない』と記載。寅さん歩188 江戸・東京の祭61 江戸らしい祭—25をご覧ください。



今回はここまでとします。

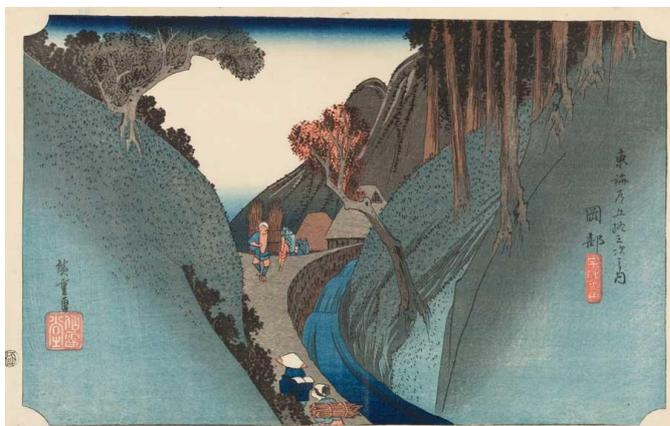
[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年(令和3年)9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。

2023年8月8日、お江戸日本橋(現在の中央区日本橋一丁目)を出発、2023年

10月21日岡部宿（現在の静岡県藤枝市）（江戸日本橋から188km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介し
ます。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド
（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「岡部 宇津之山」
です。宇津ノ谷峠は蔦の茂った
暗い細道で「蔦の細身」と
も呼ばれていました。西側か
ら山肌が迫り、谷間を急流が
流れています。籠を背負った
二人の人物が細い道を登って
行きます。

岡部の名物は「あげおかべ」（写真下左）、「たけのこ」や「竹の子まんじゅう」（
写真下右）です。あげおかべはあげ豆腐に薬味をつけたものです。原料の大豆は「茶豆」
を使用し豆腐は硬さ、水分にこだわった昔ながらのてづくりで弥次さん喜多さん
もたべたとか。岡部宿から少し入った宮島地区でおいしいたけのこがとれます。
たけのこ子まんじゅうは白い薄皮のなかに、白あんと細かく刻んで甘く味付けした
たけの子が入った大ぶりのおまんじゅうです。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見
つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。
FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コー
スが紹介され、各コースシートが印刷できます。
今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。

マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。
また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝